大老連俳句会

7月7日、大阪市立いきいきエイジンググセンターにて

鵜川　定久選

兼題　当季雑詠

恥らいてやがて大胆水着の娘　辻　子紅
文字忘れ言葉出でこず花空木　田平　康恵
心太余命しほってホ句の道　森田かおる
紫に染まる追憶花あやめ　松下登美子
すかし見る琥珀色なる梅酒かな　中田百合子
声出して逃げる赤子に天花粉　中西　寿乃

サッカーの一点に泣き夏果つる　日柳れい子
夏萩や一巻唱ふ般若経　傳賛　弘子
満席のひそむ睡魔やねぶの花　吉田　靜代
黄檗の布袋の腹や蓮浮葉　大本　和子
蛍にさそはれ川端水うまし　大畠　宮子
冷奴歪もありて備前焼　加納　幸子
睡蓮の一番花はモネの美よ　松野　幸子
羅に帯の引立つお茶の会　平田　文子
夜濯を干して親子の星探し　石田寿美子
小児病棟七夕紙の文字大き　岡本　桂子

選者吟　磯蟹の隠れ上手を子が覗く

梅漬けの気持豊かに塩加減　浪速区稲荷第二稲生会　楠　智恵子
山開きほら貝の役継ぐ実家　大塚千庸子
惜老の日課と決めて昼寝する　森永　栄
橋桁に水位の跡や梅雨出水　為末　富江
夕涼み昨日の話今日もして　田中貴美枝
楚々として病床照らす百合の花　亀山　義久
大阪にくらし長寿や鱧の皮　中川　勢子
今朝咲きしくちなしのまた白きこと　兵頭　八重
夏の暁ショーウインドーの内外に　玉井　幸子
さくらんぼつまみ見合の話など　岡島　衛
半夏雨関節摩り愚痴となる　栗田　きぬ
今日だけは贅をつくして鱧料理　小林サチ子

豆腐屋のチラシここにも夏は来た　淀川区西中島老人クラブ　友永　二郎
ヘルペスの痛さに泣いて春は逝き　草野美代子
いつの日かこの手に止まれ努力賞　中田　誠子
好きな人顔見て赤く初なころ　平井ノブ子
初蝉の声懐かしく窓に立つ　安部　勝子
好奇心膨らんだまま日々多忙　宇野　玉枝
かき氷ゆれるのれんにすい込まれ　吉田恵美子
緊張に台詞が失せる初舞台　藤木　康司
ボンボリが手招きしてる夏祭り　谷川　安昭
寝過ごした夢二度も見る旅前夜　菅原　貞子
打水の露地冷え冷えと帰途の人　佐野みゆき
荒っぽい洗礼でした大相撲　岡田　元
梅雨入りで足もとうずき家ごもり　三井　朝子
母よりの遺産と思う虫歯ゼロ　長谷川　滋
愛犬の夢みたいみたいと寝てしまい　木原淳三朗
同徳庵老人クラブ
同　
同井高野連合第三老人会　岡崎　和子
同井高野連合第六老人会　成くに子
梅雨深く鏡と話す理髪店　惣元　幸吉
同東淡路第十二長生会
不要品出す事覚え身が軽く　岡田　元
生野区第二長楽会
梅雨入りで足もとうずき家ごもり　三井　朝子
城東区野江みのり会
母よりの遺産と思う虫歯ゼロ　長谷川　滋
鶴見区楽生会
愛犬の夢みたいみたいと寝てしまい　吉田恵美子
同徳庵老人クラブ
緊張に台詞が失せる初舞台　藤木　康司
住之江区浜口長寿会
ボンボリが手招きしてる夏祭り　谷川　安昭
住吉区墨江東四長寿会
寝過ごした夢二度も見る旅前夜　菅原　貞子
同墨江中二ことぶき会
打水の露地冷え冷えと帰途の人　佐野みゆき
東住吉区菊寿会
荒っぽい洗礼でした大相撲　岡田　元
同田辺西一延寿会
物忘れ爺もそろそろ電池切れ　高橋　正雄
平野区加美寿会
紫陽花も色香に惑い七変化　門野　隆司
同加寿美会
湯につかり薪で焚いてた母想う　廣田　稔
西成区天寿クラブ
夕立の樹下に宿りて長ばなし　城東区森之宮長寿会　廣橋　俊雄
同　柴原　梅子
節太の指のためらふさくらんぼ　岩永登茂子
同成育和楽会
いたづらの時は仲良し日焼の子　矢田　智子
同関目東第二五楽会
山盛りの願ひを一つ星まつり　竹村　禮子
同きらく老人クラブ
度忘れの連鎖反応茗荷汁　石岡トキヱ
同蒲生三むつみ会
聞き落とし言いそびれいて日向水　安達美智子
同野江みのり会
踊子の白き襟足結い上げて　矢倉　眞子
同古市一南和老会
花火師の黒子は闇を走りけり　綿谷　弘子
住之江区新北島つくし会　小寺　榮子
夏木立縫い縫い走る富士の五湖　畑井　儀人
同太陽連合きらく会
我影をつくり影追ふ炎暑かな　川上南海子
同南港東第四町会寿会
鎌首をたてて早瀬を渡る蛇　斉藤　政憲
住吉区清水丘喜楽会
梅雨晴間ゲートボールを競いをり　中辻イク子
同我孫子長生会
禽の影水面狭めて蓮浮葉　髙橋　剛
同墨江中二寿会
作業帽子脱げば日焼の若さかな　石岡トキヱ
平野区平野南なごみ会
十薬を軒並に干す峡の家　安達美智子
同馬場南第二老壮会
二上の稜線流る夕立雲　矢倉　眞子
同喜連東第五老人クラブ　堀川　和子
涼しさや本音で語る人といて　竹村　禮子
西成区萩鶴会
絹糸の如くしなやか合歓の花ピンクと白の長く咲くなり　廣橋　俊雄
北区菅寿会
梅雨晴れのグラウンドゴルフ快復の妻しっかりとホールインワン　柴原　梅子
都島区北寿会
祖父の面終戦後の麦こがし　大西みよ子
福島区長生クラブ
夏帽子粋に被りし媼かな　大西きよ子
同吉野和老会
ベランダの朝顔日々の気を貰ふ　國定　恵美
同　
雲の峰吾が力瘤競べ見る　島谷久美子
此花区恩貴島老友会
難解の碑文を眺め夏帽子　馬越よし秋
中央区南大江熟年クラブ　藤岡　秋子
紙縒り縒る婆もひと役星祭り　松永八重子
西区日吉老寿会
荒川の桃よと添えて供えけり　桜井　貞子
天王寺区聖和敬友会

俳句

鵜川　定久選

文机の野花一輪夏座敷　山本美穂子
北区曽根崎クラブ
今にして歳時記座右に梅雨ごもり　喜多　知慧
都島区西都島老人クラブ
絹荚を散らせば涼し酢の香り　大西みよ子
同永寿会
父の面終戦後の麦こがし　大西きよ子
福島区長生クラブ
夏帽子粋に被りし媼かな　國定　恵美
同吉野和老会
ベランダの朝顔日々の気を貰ふ　島谷久美子
同　
雲の峰吾が力瘤競べ見る　馬越よし秋
此花区恩貴島老友会
難解の碑文を眺め夏帽子　松永八重子
中央区南大江熟年クラブ　藤岡　秋子
紙縒り縒る婆もひと役星祭り　松永八重子
西区日吉老寿会
荒川の桃よと添えて供えけり　桜井　貞子
天王寺区聖和敬友会

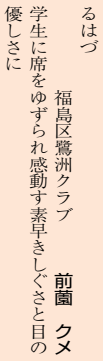
川柳

吉川　哲矢選

止まり木に叶わぬ夢を干しておく　平田　蒔子
淀川区新高新老クラブ
真実が聞きたい窓を開け放つ　植野　保宏
此花区梅香長寿会
米寿ではさほど大事にされぬ会　生野区生野南第２長楽会　玉谷愛之助
自分史を奏でる音色まだ出せぬ　辻部さと子
住之江区加賀屋福寿会
嫁が居て娘が居て楽し旅の宿　伊藤　博仁
鶴見区鶴寿会
逆らわず勝ってしまった無言劇　神夏磯典子
旭区天長会
海霧濃くてエンジンの音響くだけ　小津　豊子
西成区天下茶屋天寿クラブ
定年後三倍速で老い進む　佐喜眞光子
福島区開寿会
ほおずきを鳴らした頃の夏まつり　浜中　春代
住吉区ときわ会
言いわけの矛盾を聞き流す深夜　小泉ひさ乃
生野区親生会
温暖化北のお米が美味くなる　木原淳三朗
都島区高倉連合
疎開っ子蚤の乱舞忘れない　白井　厚代
福島区開寿会
宇治の友みやげにもらい新茶の香　金丸　澄子
同玉寿会
妻亡くし孤独に耐えた友が逝く　髙橋　節男
此花区伝法喜寿会
すっきりと浴びるシャワーに夏の肌　森谷　弘子
中央区桃谷桃寿会
馬草刈る香り一杯抱きしめて　植田　多喜
天王寺区聖和会
びわの種転げて虫と間違われ　桜井美恵子
同城南クラブ
水多め炊いてる飯に老いを知り　金田　正次
浪速区長寿会
生きて居る証しに朝は窓明ける　佐原　淨子
西淀川区姫島老人クラブ

短歌

大西　公哉選



書

北区本庄東楽翁会　植田　静子　筆精妙入神
西区日吉連合寿老会　松永八重子　百事楽嘉辰
同西道頓堀コーポいちょう会　福谷　正次　泳ぎ吐き継ぐ
淀川区三津屋三寿会　住田　重三　桜花桃李芳百華
同塚本老人クラブ　岡田　操　高遠理想
東淀川区井高野連合　辻村　久子　陳言で届く日差し深山吹
城東区城東老楽会　葉山　晨子　静かな風多熟考清水世界
同生野南第三暁会　伊藤ヒサ子　厨まで届く日差し深山吹
同生野第４おもと会　河合修二郎　厳然無聖
同西生野第４おもと会　河合修二郎　修道之謂教
生野区鶴橋クラブ　茶谷　昌子　法水清流
東成区片江第四長寿会　仲谷　和子　水雲深自得
東淀川区西淡路日之出友愛クラブ　堀間　富雄　和気如春
鶴見区茨田東喜楽会　人見　政夫　焼静言自適
同諸口中サンサンクラブ　中田　正子　水深魚極楽
住吉区苅田新生クラブ　髙松はる子　施して思はず
平野区恵美寿会　山口とみ子　明朝送に青峰
西成区天下茶屋天寿クラブ　酒井威左央　如泉山
東住吉区田辺西第一延寿会　髙橋　正雄　晴耕雨読
同千本千寿会　寺井　隆　山遠白雲深
東住吉区森之宮長寿会　貝原　平人　静中風多熟考清水世界
同西淡路日之出友愛クラブ　山口　隆　陳言で届く日差し深山吹

大阪市広報ラジオ番組
馬場章夫の〈新〉大阪大発見
毎日放送ラジオ（1179ＫＨｚ）
毎週日曜日　午前８時～８時30分
まち歩きの達人、馬場章夫さんが現場取材を交え大阪のまちをレポート！

８月１日　大阪のおいしい水を大発見！
８月８日　「新大阪」大発見！
８月15日　鉄道とくらしの歴史を大発見！
８月22日　中之島の魅力を大発見！
８月29日　水都大阪を守るお仕事大発見！

話せる。頼れる。生活バンク。
JAバンク大阪（JA/信連）
http://www.jabankosaka.or.jp/ja

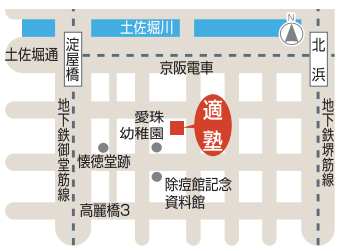
大阪人の誇り　第参回

適塾

北浜のオフィス街に残る幕末の史跡・適塾は、医師・蘭学者である緒方洪庵（1810～1863）が開いた私塾で、正式には「適々斎塾」といいます。適塾二十五年間での門下生は千人を超えたと云われており、入門帳に記されているだけでも六百三十六人にのぼります。その中には、福沢諭吉、大鳥圭介、大村益次郎、橋本左内、長与専斎、佐野常民らがいました。幕末から明治維新にかけて活躍し、近代日本を創った人々です。

自由、平等、合理の学風

適塾の名は、洪庵の号である「適々斎」に由来し、「自分の心にかなうことに従い、楽しめばいい」という考え方が現われたものです。これは学問にも教育にも貫かれました。適塾は蘭方医学が第一でしたが、薬学、化学、物理学、兵学、西洋事情などその学問は実に幅広いものでした。また、クラス分けは学力で行い、成績の良い者が上席に座ります。入門の年月や年齢や身分は問いませんでした。オランダ語で分からないところがあっても決して教えず、自ら辞書で調べさせるため、一冊しかない貴重な蘭和辞典は常に塾生の順番待ちで、勉学は深夜に及びました。また、漢方が門外不出の学問であったのとは対照に実にオープンで、コレラ（感染症）の対処法を書いた本を自費出版するなど、名利、利益には決して走らず、現代と変わらぬ学問への態度を育みました。後に福沢諭吉が起こした慶応義塾においても、その実学、自由、平等、近代合理主義の精神は、大坂の適塾の学風そのものを受け継いでいます。



JAは大阪とともに歩む、信頼バンクです
年金のお受け取りはJAで

大阪府全域をカバーするJAのネットワーク

JA大阪市 TEL.06-6793-8701	JA大阪中河内 TEL.072-924-6647	JAいずみの TEL.072-439-2386	JAたかつき TEL.072-671-5421
JA北河内 TEL.072-844-1353	JAグリーン大阪 TEL.072-967-1139	JA大阪泉州 TEL.072-468-2633	JA北大阪 TEL.06-6877-5145
JA九個荘 TEL.072-828-4441	JA大阪南 TEL.0721-25-5523	JA大阪北部 TEL.072-725-0752	
JA大阪東部 TEL.072-878-1231	JA堺市 TEL.072-278-5011	JA茨木市 TEL.072-627-7763	

JAは農協の愛称です。